

2023 年度中京大学入学式式辞

中京大学の学部、並びに大学院研究科にご入学された皆さん、おめでとうございます。皆さんを心より歓迎いたします。新入生を育て、支えてこられたご家族・保護者の皆様方にも、謹んでお慶びを申し上げます。

中京大学を中核とする学校法人梅村学園は、ことし、創立 100 周年を迎えました。皆さんは、記念すべきこの節目の年に入学されたことを、大いに誇りに感じていただければ嬉しく思います。

学園の歴史は、1923 年（大正 12 年）に設立された中京商業学校に始まります。現在の中京大学附属中京高等学校にあたります。開校にあたって、創立者の梅村清光先生は校訓「真剣味」を定めました。真剣味の「真」は、真実、真理を探究する知育を意味します。「剣」は剣道や剣術、すなわち体育。そして「味」は人間味、つまり徳育のことです。真剣味という言葉には、知、体、徳の三つを兼ね備えた人間に育ってほしい、との思いが込められているのです。

中京大学は、中京短期大学として 1954 年（昭和 29 年）に開学し、その 2 年後に四年制大学となりました。来年、2024 年に開学 70 周年を迎えます。初代学長の梅村清明先生は、校訓「真剣味」をさらに深化させ、建学の精神「学術とスポーツの真剣味の殿堂たれ」を掲げました。建学の精神では「一、ルールを守る 二、ベストを尽くす 三、チームワークをつくる 四、相手に敬意を持つ」という四大綱が示されています。四大綱は、学術やスポーツだけでなく、どんな場面でも決しておろそかにすべきでない普遍的な理念です。これから始まる大学生活だけでなくこの先の人生においても、ぜひ心に留めおいてもらいたいと願います。

中京大学は、名古屋、豊田の 2 つのキャンパスに 10 学部と 9 つの大学院研究科を擁する総合大学です。学生の総数は 1 万 2000 名を超えており、全国各地からさまざまな人たちが集まっています。皆さんは、勉学やスポーツ、サークルなどを通じて多くの人達と出会うことになるでしょう。ぜひ、自らと異なった価値観を持つ人と交流し、存分に視野を広げていってください。

幸い、新型コロナウイルス感染症は最悪期を脱したとみられ、行動制限の緩和が進んでいます。5 月には感染症法上の位置づけが 5 類に移行される予定で、キャンパスも活気づくことでしょう。とはいえ、変異株による新たな流行拡大の懸念は残りますので、自らの身は自分で守るという自覚は、常に忘れないようにしてもらわねばなりません。大学での生活は、高校までに比べると格段に自由度が増しますが、そこで大切なのは、周囲に流されるのではなく、しっかりと目標を決め、そこに向けて自分自身を成長させていくという意識を持つことです。求めるものさえはっきりしていれば、中京大学は、そのために必要なものを提供できる設備と環境は十分に整っています。中京大学を、皆さんが将来に向け

て羽ばたいていくためのステージとして活用していただきたいと思います。

さて、私たちを取り巻く社会は大きな転換期にあります。ロシアのウクライナ侵攻は依然として終結に向けた糸口がつかめず、NATO（北大西洋条約機構）加盟国とロシアとの溝は深まっています。東アジア地域も含め、世界の安全保障は予断を許さない情勢にあるといえましょう。国内に目を向ければ、少子化が予想を上回るペースで進行し、国の財政や社会保障のあり方と関連付けた議論も交わされ始めました。人口減少が続く中で、経済構造の転換をどのように図っていくのか。さらに地球温暖化を見据えつつ、エネルギー政策をどう構築していくのか。直面するこれらの課題はいずれも前例のないものであり、複合的に絡み合っています。AI（人工知能）にデータを入力すればシミュレーションの結果を引き出すことはできるでしょうが、それらを総合して解決策を見出していくのは、あくまで、私たち人間に課せられた役割なのです。そしてそれは、政府や大企業に任せておけばよいというものでもありません。一人ひとりの個人がこうした問題を「自らのこと」だと真剣にとらえ、率直に意見を交わし合っていくことこそ、大切なのではないのでしょうか。皆さんにはぜひ、大学生活を通じて、主体的に考え、しなやかに、かつ大胆に行動する力を養っていただきたいと思います。

その際に重要なのは、情報を的確に把握し、分析することです。今の世の中には過剰なほどの情報が溢れかえっていますが、その中には何らかの悪意が潜む虚偽の情報や、極端に偏った立場から発せられている情報も少なくありません。それらに惑わされることなく、正確な情報を選別する目を磨いていってください。SNSを活用するのは結構ですが、それだけではなく、図書館の本、さらに新聞を大いに読み、幅広いジャンルの多様な情報に触れてほしいと願います。そうした知識と経験を積むことによって、うわべに振り回されず、情報の本質を見抜くことのできるフィルターが、皆さんの中におのずと備わってくるでしょう。

この3年間の新型コロナとの闘いを振り返ってもよくわかるように、人類は危機を迎えるたびに社会のシステムを構築し直し、新たな道を切り拓いてきました。今、私たちの前に横たわる課題の数々も、人類全体の叡智を結集すれば、決して解決できないものはありません。険しい山を乗り越えれば、その先には、一人一人の個性と多様性がこれまで以上に尊重される社会を再構築していくことができるはずです。

その時の主役となるべき皆さんの前には、あらゆる可能性が広がっています。大学での学びを深めることによって、ぜひ、その可能性をより良い方向に押し広げ、これからの社会に貢献していってください。中京大学に入学された

皆さんは、そうしたことができる能力を十分に備えています。そして中京大学の教職員は、皆さんのチャレンジを全力で支援していきます。

皆さんのこれからの大学生活が実り多きものとなりますよう、あらためて心より祈念して、式辞とさせていただきます。

本日はご入学、誠におめでとうございます。

2023年4月4日

中京大学長
梅村 清英